

# 世界史B 10 ギリシャ(4) ギリシャ文化

文学 叙事詩・ホメロス(B.C.8世紀) B.C.6世紀、吟遊詩人により口承された叙事詩をアテネが文字化。

「イーリアス」=トロイ戦争 「( )1」=トロイからの帰還

・ヘシオドス (B.C.700年ごろ)

「神統記」=神々の系譜 「労働と日々」=農民生活

・( )2 (B.C.7世紀ごろ) レスポス島出身の女流詩人。「アフロディテへの賛歌」

・ピンダロス (B.C.518~438年) 賛歌・舞踏歌

演劇 悲劇・アイスキュロス (B.C.525~456年)

「アガメムノン」=トロヤ攻めの大将 「テーバイを攻める7人の武将」など

・ソフォクレス (B.C.496~406年)

「( )3」=父殺し 「( )4」=母殺し 「アンティゴネ」など

・エウリピデス (B.C.485~406年)

「( )5」=子殺し 「ヒッパルコス」など

喜劇・アリストファネス (B.C.450~385年)

「雲」 「( )6」=戦争に明け暮れる男達への批判 など

歴史学・ヘロドトス (B.C.484~425年ごろ) 小アジアのハリカルナッソス生まれ

「( )7」=ペルシャ戦争史

「エジプトはナイルの賜物」の言葉。

・トゥキディデス (B.C.460~400年ごろ)

「戦史」=ペロポネソス戦争史

医学・( )8=B.C.460~375年 医学の祖。

コス島出身でコス島に医学校を創設。

「ヒポクラテスの誓い」

「私は能力と判断の限り患者に利益すると思う養生法をとり、悪くて有害と知る方法を決してとらない。

いかなる患者を訪れるときもそれはただ病者を利益するためであり、女と男、自由人と( )9の

ちがいを考慮しない」 →現代でも医師、看護師の倫理規定

自然哲学・タレス (B.C.624~546年ごろ) 自然哲学→ ( )10学派の祖。

「エジプトに旅。天文、幾何学。(B.C.585年5月28日の)( )11を予言。

「万物の根源=( )12」を( )13であるとした。

→世界を神によってではなく物質で説明。

・ピタゴラス (B.C.582~497年ごろ) サモス島の人。数学者。ピタゴラス学派→AD2世紀まで続く

「ピタゴラスの定理」

「地球は ( )14だと考える。「惑星は円軌道を同じ速度で動く」とした。

「( )15=宇宙という言葉を作る。調和・秩序→ ( )16

「万物の根源」を( )17とした。

・デモクリトス (B.C.460~370年ごろ)

「エジプト、ペルシャ、バビロニアを旅行。

「73冊の本を書いたとされるが、1冊も現存せず。断片が残る。

「円錐や( )18の体積の計算を試みる→微積分の初歩。

「原子論の祖 原子=( )19=切ることのできないもの。

→すべてのものは原子の結合と考えた。世界を成り立たせる究極の物質。

「慣習的な言い方によれば、色があり、甘さがあり、にがさがある。しかし真実には( )20と空虚

があるのみ。」

哲学・プロタゴラス(B.C.485~415年ごろ) ( )21=「弁論家」 「智を教える人」=の一人

「人間は万物の尺度」→相対主義

・ ( )22=B.C.469~399年

デルフォイのアポロン神の神託が弟子に「ソクラテス以上の賢者はいない」と答えたことから、賢者と思っていなかったソクラテスはアテナイの賢者と言われる人々と対話を重ね、彼らの無知を明らかにし、神託の意味を「知らないことを知っていると考えるよりも、知らないことを知らないと自覚しているほうが賢明だ」と理解したという。(「ソクラテスの弁明」プラトン)

「哲学「フィロソフィー」の語。Philos=( )23 Sophia=( )24

「汝自身を知れ」=アポロン神殿の言葉 「( )25の知」

「ただ生きるのではなく、( )26く生きる」

「神を冒とく、青年を惑わす」として陪審廷で死刑に。

・プラトン (B.C.427~347年) ソクラテスの弟子

「( )27論を基本とする観念論的哲学を展開

生成変化する現象の背後に永遠不滅のイデアが真の実在としてあると考えた。

「アテナイに( )28=学園=を創立。

「主著「( )29」→哲人政治を説く。

・アリストテレス (B.C.384~322年) マケドニアの出身。王の侍医の子。プラトンの弟子。

さまざまな学問を体系化。「四元素=火・空気・水・土=論」著書 「( )30」など。

建築・彫刻・フェイディアス(B.C.490ころ~430ころ) アテネのアクロポリスの神殿建築、彫刻。

【オリンピア競技】

・B.C.9世紀ころから。オリンピアで最高神( )31に奉納。4年ごと。

・参加→全ギリシャの( )32市民のみ。女性、奴隷は排除。入場も不可。

・勝者に( )33の冠。銅像を聖域内に建てる。

・A.D.392年、ローマ皇帝テオドシウスが( )34教を国教とし、オリンピア競技を禁止。

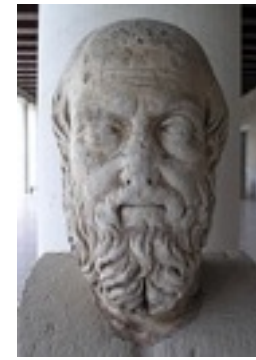
・近代オリンピックは1896年、フランスのクーベルタン提唱により復活し( )35で第一回大会。



古代劇場(エピダウロス)



ホメロス



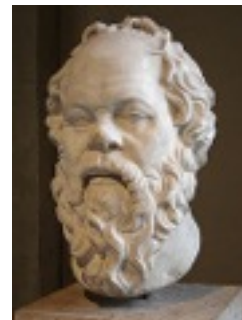
ヘロドトス



ピタゴラス



オリンピア競技場跡



ソクラテス



プラトン



アリストテレス

・智 ・愛 ・善 ・球 ・水 ・数 ・無知 ・歴史 ・男性 ・原子 ・政治学 ・国家論 ・女の平和  
 ・ゼウス ・イデア ・イオニア ・メディア ・ローリエ ・コスモス ・アルケー ・ソクラテス ・ハルモニア  
 ・エレクトラ ・サッフォー ・ソフィスト ・ヒポクラテス ・オイディプス ・オデュッセイア ・アカデメイア